

平成28年3月期第3四半期連結決算 及び 平成28年3月期連結業績予想(IFRS)ハイライト

(単位:億円)

経営成績	当第3四半期連結累計期間			前年同期	前年同期比	
	上半期	第3四半期	当3Q累計		増減額	増減率(%)
収益	24,978	11,763	36,741	41,670	△ 4,929	△ 11.8
売上総利益	3,906	1,746	5,652	6,407	△ 755	△ 11.8
販売費及び一般管理費	△ 2,834	△ 1,446	△ 4,280	△ 4,324	44	
有価証券損益	161	151	312	222	90	
固定資産評価損益	48	△ 54	△ 6	△ 740	734	
固定資産処分損益	115	△ 208	△ 93	1	△ 94	
雑損益	△ 192	△ 11	△ 203	△ 209	6	
利息収支	△ 97	△ 49	△ 146	△ 131	△ 15	
受取配当金	260	231	491	967	△ 476	
持分法による投資利益	883	3	886	1,499	△ 613	
法人所得税前利益	2,250	363	2,613	3,692	△ 1,079	△ 29.2
法人所得税	△ 793	△ 307	△ 1,100	△ 1,068	△ 32	
非支配持分帰属四半期利益	△ 151	△ 18	△ 169	△ 80	△ 89	
四半期利益 (親会社の所有者に帰属)	1,306	38	1,344	2,544	△ 1,200	△ 47.2
四半期包括利益 (親会社の所有者に帰属)	△ 1,320	△ 51	△ 1,371	4,443	△ 5,814	-
EBITDA (※1)	3,474	1,216	4,690	6,654	△ 1,964	△ 29.5

主な増減要因
【収益】 エネルギー:石油トレーディング、石油・ガス生産事業 価格下落 化学品:中国 化学品 取扱数量減少、価格下落 金属資源:豪州鉄鉱石生産事業 価格下落
【売上総利益】 エネルギー:原油・ガス価格下落 金属資源:鉄鉱石価格下落 米州:メチオニン価格上昇、コスト低下
【販売費及び一般管理費】 前年同期と同水準
【有価証券損益】 Hutchison China MediTech株式 公正価値評価益 りらいあコミュニケーションズ 過年度減損損失戻入 (前年同期 Silver Bell Mining及び上海森茂出資持分売却益)
【固定資産評価損益】 東京国際エアカーゴターミナル 減損損失戻入 (前年同期 石油・ガス生産事業(イーグルフォード、北海)減損)
【固定資産処分損益】 MEPME 固定資産売却損 (前年同期 小口の集積)
【雑損益】 探鉱費用、Multigrain暖簾減損 (前年同期 探鉱費用、北海油田・ガス田事業暖簾減損)
【利息収支】 前年同期と同水準
【受取配当金】 LNGプロジェクトからの受取配当金減少
【持分法による投資利益】 減少・IPP事業 一過性損失等による減益 ・MLCC(カセロネス)銅鉱山開発事業 固定資産減損 ・JAL-MIMI 原油価格下落による減益 増加・前年同期 Acruxチリ税制改正によるDTL追加計上 ・前年同期 GE航空機エンジン開発 研究開発費計上

キャッシュ・フロー	当3Q累計	前年同期
営業活動	4,019	4,690
投資活動	△ 2,758	△ 2,575
(フリーキャッシュ・フロー)	1,261	2,115
財務活動	△ 1,030	△ 590
基礎営業 キャッシュ・フロー(※3)	4,215	5,685

オペレーティング・セグメント情報 (※2)	<EBITDA>			<四半期利益(親会社の所有者に帰属)>			
	当3Q累計	前年同期	増減	当3Q累計	前年同期	増減	主な増減要因
鉄鋼製品	89	99	△ 10	39	47	△ 8	・前年同期 リーゼンシー・スチール・ジャハーン一過性利益
金属資源	610	1,218	△ 608	109	637	△ 528	・鉄鉱石価格下落 ・MLCC(カセロネス)銅鉱山開発事業 固定資産減損
機械・インフラ	517	520	△ 3	310	301	9	・IPP事業 一過性損失等による減益 ・東京国際エアカーゴターミナル 減損損失戻入
化学品	225	165	60	78	43	35	・ペルー燐鉱石事業増益(市況回復、コスト削減) ・トレーディング堅調
エネルギー	2,078	3,571	△ 1,493	249	957	△ 708	・原油・ガス価格下落 ・LNGプロジェクトからの受取配当金減少
生活産業	99	139	△ 40	△ 91	△ 23	△ 68	・Multigrain関連損失(暖簾、固定資産減損他) ・国内ビル売却益
次世代・機能推進	50	△ 15	65	212	3	209	・Hutchison China MediTech株式 公正価値評価益 ・りらいあコミュニケーションズ 過年度減損損失戻入
米州	582	361	221	250	206	44	・Novus メチオニン価格上昇、コスト低下 ・前年同期 米国Silver Bell Mining出資持分売却益
欧州・中東・アフリカ	41	31	10	27	32	△ 5	・前年同期 税関連 一過性利益 ・経費減
アジア・大洋州	324	404	△ 80	164	224	△ 60	・豪州鉄鉱石事業 持分業績減
合計	4,615	6,493	△ 1,878	1,347	2,427	△ 1,080	
その他及び調整・消去	75	161	△ 86	△ 3	117	△ 120	
連結合計	4,690	6,654	△ 1,964	1,344	2,544	△ 1,200	

平成28年3月期年間業績予想	業績予想 (今回公表)	前回予想 (昨年11月公表)	前期 (平成27/3期)
売上総利益	7,100	7,400	8,458
販売費及び一般管理費	△ 5,700	△ 5,700	△ 5,846
有価証券・固定資産関係損益等	600	400	△ 710
利息収支	△ 200	△ 200	△ 171
受取配当金	600	600	1,141
持分法による投資利益	1,200	1,700	1,446
法人所得税前利益	3,600	4,200	4,318
法人所得税	△ 1,400	△ 1,500	△ 1,049
非支配持分帰属当期利益	△ 300	△ 300	△ 204
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	1,900	2,400	3,065
EBITDA	5,800	6,600	7,883

一株あたりの配当金(円)	中間	期末	年間	配当性向
当期	32.00	32.00 (予想)	64.00 (予想)	60.4%
前期実績 (平成27年3月期)	32.00	32.00	64.00	37.4%

財政状態	平成27年12月末	平成27年3月末	増減
総資産	117,452	122,029	△ 4,577
親会社の所有者に帰属する持分	38,465	40,998	△ 2,533
有利子負債 (現預金等控除後)	33,789	33,822	△ 33
ネットDER (倍)	0.88	0.82	0.06

【総資産】  
価格下落や取扱減少に伴う営業債権及びその他の債権の減少により流動資産が減少。また、FVTOCI金融資産の公正価値減少によりその他の投資が、また売却・除却に伴い有形固定資産が減少。  
【親会社の所有者に帰属する持分】  
利益剰余金増加の一方、FVTOCIの金融資産減少の他、豪ドル安及び伯レアル安を主因に外貨換算調整勘定が減少。

(注)  
※1 売上総利益 + 販売費及び一般管理費 + 受取配当金 + 持分法による投資利益 + 減価償却費及び無形資産等償却費  
※2 当第3四半期連結累計期間より複数セグメントで保有する連結子会社の損益のうち、EBITDAに関連する損益を「持分法による投資利益」を用いて各セグメントに配賦すると共に、関係会社間で受払いされる役務提供の対価を、「売上総利益」に計上又は「販売費及び一般管理費」から控除しております。また、生活産業セグメントのメディア事業部を次世代・機能推進セグメントに移管しております。これらの変更に伴い、前年同期のオペレーティング・セグメント情報を修正再表示しております。  
※3 営業活動によるキャッシュ・フロー - 営業活動に係る資産・負債の増減によるキャッシュ・フロー

(注) 本資料における業績予想や将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手している情報及び本資料発表日現在における将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、決算短信21ページの(1)平成28年3月期連結業績予想を、将来に関する記述に係る注意事項については24ページの3.その他の情報【注意事項】をご覧ください。

<参考> 主要指標推移	当3Q累計	前年同期
為替 (円/米ドル:期中平均)	121.63	107.75
為替 (円/豪ドル:期中平均)	89.71	96.54
金利 (円TIBOR3M平均)	0.17%	0.20%
金利 (米ドルLIBOR3M平均)	0.35%	0.23%
当社連結油価 (米ドル/bbl)	\$57/bbl	\$109/bbl
為替 (円/米ドル:期末レート)	120.61	120.17
日経平均 (期末終値)	19,033.71	19,206.99